

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
黒崎副都心地区(第2期)

平成31年2月

福岡県北九州市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見		
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性			
指標1	駅乗降客数	人/日	30,134	28,994	30,570	確定 見込み ●	○	あり なし	—	30,788	H30.4	○	—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	黒崎駅周辺の道路整備による車での駅へのアクセス向上、歩行者空間の整備による歩行者の駅へのアクセスや安全性向上等が、乗降客数の減少率抑制につながったと考えられる。また、地区内人口増加も減少率抑制に寄与したと考えられる。
指標2-1	中心商店街内の歩行者通行量	人/日	16,216	15,156	12,093	確定 見込み ●	×	あり なし ●	—	11,665	H29.10	×	各種実施事業が昼間の商店街の回遊性向上に寄与しなかったほか、まちのにぎわいが昼間から夜間へ移行し始めているため。 <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	歩行者空間の整備や各種ソフト事業により、中心商店街への回遊性向上を促進してきたが、減少に歯止めがからなかった。地区内人口は増加し、空き店舗率も改善しているが、昼間の商店街の回遊性向上には寄与しなかったと考えられる。	
指標2-2	駅前ペDESTリアンデッキ上の歩行者通行量	人/日	21,189	21,189	22,389.0	確定 ● 見込み	○	あり なし	—				—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	ペDESTリアンデッキの再整備により駅へのアクセスや安全性・快適性が向上し、ペDESTリアンデッキ上の歩行者通行量増加につながったと考えられる。また、地区内人口増加も歩行者通行量増加に寄与したと考えられる。
指標3	地区内人口	人	13,510	14,119	14,175	確定 見込み ●	○	あり なし	—	14,167	H29.9	○	—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	黒崎駅周辺道路や河川、第1期の事業で整備した図書館・ホール等の公共施設の整備により、快適で美しい景観のまちが形成され、居住環境が向上したことから、民間による未利用地等における住宅開発が進み、地区内人口の増加につながったと考えられる。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見		
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性			
その他の数値指標1	空き店舗率	%	20.2	/	14.2	確定 見込み ●	/	/	/	18.6	H29.11	/	—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	歩行者空間の整備や各種ソフト事業により、商店街の空き店舗率改善につながったと考えられる。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	安全・安心・快適で美しい市街地の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・黒崎駅ペDESTリアンデッキ再整備 ・商店街エリア内みち再生事業 	黒崎駅ペDESTリアンデッキでは、ルーフ等の整備により、副都心の玄関口としてふさわしい快適で美しいまちづくりが推進されるとともに、商店街エリア内の道路整備によって歩車分離、違法駐輪・駐車や歩道のバリアフリー化等の問題の解決が図られた。	H31年春に完成する黒崎駅の新駅舎と合わせた駅周辺施設整備による、安全・安心・快適で美しい市街地の形成を図ることとする。
	にぎわいの核を基点とした交流促進・活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・城山西線の整備 ・南北公共連絡通路の整備 	城山西線道路整備事業や南北公共連絡通路の整備によって、にぎわいの核となる副都心エリアおよび計画区域北側へのアクセシビリティ向上が図られた。	引き続き、周辺施設整備による、副都心エリアへのアクセシビリティ向上を図る。
	街なか居住の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・エリア内未利用地の利活用促進 ・公共施設跡地の民間利用促進 	エリア内低未利用地や公共施設跡地に対し、新規マンションや生活利便施設の建設が進むなど、街なか居住の促進が図られた。	街なか居住の促進および居住環境をさらに向上させるため、今後も未利用地の利活用促進、住民主体の居住環境維持管理活動の支援等を図る。
	持続可能なまちづくり体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・自発的なイベントの開催促進 	地域住民が主体となったイベントが行われ、持続可能なまちづくり体制の構築が図られた。 ・地元乾杯イベント「黒崎96の日」は、約2,400人が参加した。 ・「筑前黒崎宿場まつり」では、予算と人員に合わせたイベント開催のノウハウが構築された。	引き続き、民間主導のまちづくり体制や地域コミュニティの担い手と連携し、自発的なイベントの開催等による街のにぎわいづくりを促進する。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	夜間を含めた まちのにぎわい創出	<ul style="list-style-type: none"> ・国家戦略特区に関連したイベントの開催支援 	黒崎駅ペDESTリアンデッキ上でオープンカフェ・マルシェを開催し、これまで通過するだけであった通行人を留め、商店街への新たな人の流れを創出できた。イベント開催時、歩行者通行量が通常時の約1.5倍になり、商店街へ向かう通行量も増加した。	昼間だけでなく、夜間も含めた商店街への歩行者通行量を増加させるために、今後も商店街エリアと連携した国家戦略特区イベントの開催支援を行っていくことで、新たなまちのにぎわい創出を図る。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォロワーアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項